

旧川内町

- 大正6年**
 - 10・31 町制施行
 - ◆ 初代町長に谷山成章氏就任(第3代)
- 大正9年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口1万236人、世帯数2千055戸
- 大正10年**
 - 2 ◆ 『大正鉱山』銅価格暴落で閉山
 - 9・14 ◆ 第4代町長に岡田小八郎氏就任
- 大正14年**
 - 3 ◆ 『安部城鉱山』閉山
 - 3・26 ◆ 第5代町長に坂部市太郎氏就任
- 昭和2年**
 - 3 ◆ 川内郵便局特設電話開通
- 昭和4年**
 - ◆ 大洪水のため浸水家屋300余戸市中を発動機船で往来
- 昭和5年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口6千972人
- 昭和8年**
 - 4・3 ◆ 第6代町長に大類作太郎氏就任
- 昭和10年**
 - 8 ◆ 川内耕地整理完工受益水田192ヘクタール
 - 11・10 ◆ 東北丸の上陸客を乗せた橋げたが転覆、7名死亡
- 昭和11年**
 - 2・5 ◆ 第8代町長に岡田彦一氏就任
 - 10・3 ◆ 低気圧暴風雨のため、海水による流出倒壊家屋30戸、屋根破損家屋270戸、漁船流出16隻
- 昭和12年**
 - 11・10 ◆ 第9代町長に工藤正輔氏就任
- 昭和14年**
 - 9 ◆ 『川内橋』(永久橋)完成
 - 9・23 ◆ 第10代町長に菊池亮氏就任
- 昭和15年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口7千852人
- 昭和16年**
 - 4・15 ◆ 第12代町長に中村熊寿氏就任
- 昭和18年**
 - 9 ◆ 『下北省営自動車』田名部〜川内間が開通
 - 10 ◆ 川内町国民健康保険組合直営診療所開設
 - 10・20 ◆ 第13代町長に沢田惣之助氏就任
- 昭和21年**
 - 6 ◆ 小学校食糧不足のため9日間臨時休校
- 昭和22年**
 - 4・5 ◆ 第14代町長に斉藤才吉氏就任
- 昭和23年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口8千585人
- 昭和25年**
 - 11・16 ◆ 第15代町長に瀬川惣兵太氏就任
- 昭和27年**
 - 11 ◆ 川内町国民健康保険直営病院開設
 - ◆ 川内町上水道工事着工
- 昭和30年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口9千654人
- 昭和32年**
 - 4・8 ◆ 『あたご幼稚園』開園
- 昭和33年**
 - 4・26 ◆ 第17代町長に笹原松若氏就任
- 昭和35年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口9千654人
- 昭和37年**
 - 4・26 ◆ 第18代町長に山内啓助氏就任
- 昭和38年**
 - 9 ◆ 『野平道路』開通
- 昭和39年**
 - 5 ◆ チャイム時報機完成
- 昭和40年**
 - 4・1 ◆ 『第二川内小学校』創立
 - 9 ◆ 『中畑吊橋』完成
 - 9・19 ◆ 『第1回町民大運動会』開催、町民3千人集う
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口9千205人
- 昭和42年**
 - 4 ◆ 川内町出稼者協会発足、会員700名
- 昭和43年**
 - 5・16 ◆ 十勝沖地震により商店等に被害
 - 7・1 ◆ 『エヒ子保育園』開設
 - 8 ◆ 『第一川内小学校』(鉄筋校舎)落成
 - 11 ◆ 県道『かもしかライン』開通
- 昭和44年**
 - 10 ◆ 消防庁舎(鉄骨)完成
 - ◆ 第一川内小学校体育館においてNHK民謡歳時記公開録音
- 昭和45年**
 - 4・26 ◆ 第19代町長に菊池十一



- 氏就任
- 9・30 ◆ 『銀杏木橋』完成
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口8千241人
- 10 ◆ 川内営林署軌道撤去
- 昭和46年**
 - 4・1 ◆ 一部事務組合下北医療センター-国民健康保険川内病院開設
 - ◆ 地籍調査事業開始
 - 11 ◆ 有線放送施設完成
 - 12・16 ◆ 『松川公民館』落成
- 昭和47年**
 - 3・15 ◆ 湯野川へ国鉄バス開通
 - 3 ◆ 『へき地保健福祉館』落成
 - 4 ◆ 林業構造改善事業(第1次)着手
 - 9 ◆ 『蛸崎公民館』、『戸沢公民館』落成
 - 12 ◆ 『川内町こみ焼却場』(鉄骨)完成
- 昭和48年**
 - 3 ◆ 川内町消防団が消防庁長官表彰旗受賞
 - 6 ◆ 川内町排水施設およびポンプ場(第1期)工事着工
 - 10 ◆ 『宿野部公民館』落成
 - ◆ 創立100周年記念協賛会が第一川内小学校にテレビ20台を寄贈
- 昭和49年**
 - 9・20 ◆ 『川内町中央公民館』落成
 - 10 ◆ 『下小倉平公民館』、『安部城公民館』落成
 - 11 ◆ 『川内町生活改善センター』落成
- 昭和50年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口7千968人
- 昭和51年**
 - 4・1 ◆ 大湊高校川内分校が全日制となる
 - 8 ◆ 川内公営住宅13戸完成、全80戸落成
 - 12・8 ◆ 『銀杏木公民館』落成
- 昭和52年**
 - 2・16 ◆ 豪雪災害救助法適用
- 昭和53年**
 - 1・21 ◆ 『田野沢公民館』落成
 - 4・1 ◆ 『第一川内保育所』開所
 - ◆ 『川内高校』独立校に昇格
- 昭和54年**
 - 1 ◆ 『サケ・マス孵化場』館山下地区に完成
 - 2・10 ◆ 『湯野川公民館』落成
 - 3 ◆ 『薬師山公園』風知園完成
 - 7 ◆ 湯野川休憩所『濃々園』完成
 - 12・18 ◆ 『畑公民館』落成
- 昭和55年**
 - 4・1 ◆ 『川内中学校』統合校として開校
 - 7・1 ◆ 川内高校新校舎へ移転
 - 8 ◆ 冷害発生
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口7千890人
 - 11 ◆ 『水没者のための損失補償』等で野平住民襲川移転
 - 12 ◆ 『陶芸の家』完成
- 昭和56年**
 - 3 ◆ 『養川公民館』落成
 - 7・8 ◆ 川内川二度にわたり氾濫
- 昭和57年**
 - 7・15 ◆ 『町民プール』完成
 - 8 ◆ 『野菜集出荷施設』完成
 - 11 ◆ 『初見公民館』落成
- 昭和58年**
 - 3 ◆ 『ガラスハウス』完成
- 昭和59年**
 - 4 ◆ 『ふれあい広場』完成
 - 7 ◆ 『キャンプ場』完成
 - 10・17 ◆ 川内川大改修工事完成、山女稚魚3千匹記念放流
- 昭和60年**
 - 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口7千371人
- 昭和61年**
 - 3 ◆ 無線放送施設完成
 - 3・17 ◆ 佐井村との境界確定
 - 4・1 ◆ 『オーダーソーイング川内工場』開所
 - 9・13 ◆ 『宇賀焼』命名
 - 10 ◆ 『ほのぼの』宅配かわうち『第1便発送』
- 昭和62年**
 - 4・8 ◆ 『川内ドレス』操業開始
 - 8・6 ◆ 川内ダム転流式
 - 10 ◆ 湯野川で18年ぶりに『熊野権現舞』復活
- 昭和63年**
 - 4・28 ◆ 国際交流事業開始、川内中から5名が台湾訪問
 - 5・1 ◆ 『川内勤労者体育センター』完成
 - 12 ◆ 下北初の『流雪溝』、銀杏木地区に完成
- 平成元年**
 - 1・14 ◆ 『法岳スキー場』完成
 - 7 ◆ 『陶芸センター』完成
- 平成2年**
 - 1・1 ◆ 町の花『あじさい』、『鳥』、『クセキレイ』、『木』、『ひば』指定
 - 4・18 ◆ 特別養護老人ホーム『せらぎ荘』開設





昭和30年当時の校舎

- 昭和9年
 - 5・1 ◆町制施行
 - 5・ ◆初代町長に森又四郎氏就任
- 昭和10年
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口9千093人
 - 12・1 ◆『電信電話取扱所』開設
- 昭和11年
 - 4・ ◆第2代町長に伊藤金治氏就任
- 昭和12年
 - 12・ ◆第3代町長に佐藤虎次郎氏就任

旧大畑町

- 昭和14年
 - 9・ ◆大畑漁港稀有のイカ大漁
 - 12・6 ◆国鉄『大畑線』開通
- 昭和15年
 - 4・ ◆三階釜山をはじめ郡内各町村に釜山を操業し活発化
- 昭和16年
 - 4・ ◆第4代町長に笹沢善八氏就任
- 昭和17年
 - 9・27 ◆『林道小目名橋』完成開通式挙行
- 昭和18年
 - 7・20 ◆『正津川郵便局』開局
- 昭和19年
 - 4・1 ◆『日本医療団大畑病院』開院
- 昭和20年
 - ◆『役場庁舎』新築落成、庚申堂1番地から新町130番地へ移転
 - 8・15 ◆『新大畑橋』竣工、渡初式・祝宴は、天皇陛下の終戦に関する玉音が伝わり、



湊内のイカ荷あげ風景

- 昭和21年
 - 2・ ◆第5代町長に菊池桑吾氏就任
- 昭和22年
 - 4・1 ◆『大畑中学校』開校
 - 4・ ◆第6代町長に大竹淳氏就任
- 昭和23年
 - 6・22 ◆大畑小学校を借用し『定時制高校』開校、入学者131名
- 昭和25年
 - 2・ ◆第7代町長に菊池察明氏就任

- 昭和27年
 - 8・30 ◆『大畑町公民館』新築(現下北ハイヤー)落成式・開館式挙行
- 昭和28年
 - 6・10 ◆葉研温泉地区『県立自然公園』に指定
- 昭和30年
 - 4・12 ◆『正津川中学校』開校
 - 8・ ◆『八油工場』建設
- 昭和33年
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口1万3千566人
 - 2・ ◆第8代町長に菊池桑吾氏就任
- 昭和34年
 - 11・ ◆『下大畑橋』完成
- 昭和35年
 - 2・25 ◆国鉄『大湊・大畑線』に気動車が運行
 - 5・15 ◆『大畑漁業用海岸局(無線局)』開局
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口1万3千172人



昭和30年頃の大畑漁港



川内川溪谷遊歩道

- 平成3年
 - 1・ ◆『石倉公民館』落成
 - 10・1 ◆廃止代替バス路線が川内く湯野川間で開通
 - 12・18 ◆『銀杏木橋』完成
 - ◆『銀杏木バイパス』完成
- 平成4年
 - 4・29 ◆『川内川溪谷遊歩道』完成
 - 7・1 ◆川内町一般廃棄物最終処分場完成
 - 10・ ◆『北の川柳の町』をめざし、大滝小公園に川柳碑10基建立
- 平成5年
 - 3・ ◆『川内町ヒバハウス』完成
 - 9・1 ◆『野平高原交流センター』オープン
- 平成6年
 - 9・3 ◆『川内ダム』完成
 - 5・25 ◆道の駅に『かわうち湖野平高原交流センター』が指定
- 平成7年
 - 3・ ◆川内町出身ボクシング日本Jrミドル級チャンピオン上山仁選手、20連続防衛の日本新を樹立し引退
 - 4・1 ◆ふれあいスポーツパーク『川内球場』完成



野平高原交流センター

- 平成8年
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口6千193人
 - 10・26 ◆『松川小学校新校舎』完成
- 平成9年
 - 5・24 ◆『川内橋』完成
- 平成10年
 - 6・21 ◆川内中男子バレーボール部が下北中体連5連覇達成
- 平成11年
 - 1・22 ◆川内八幡宮例大祭の『山車』が青森県民俗文化財に指定
 - 3・31 ◆『煙中学校』閉校
 - 7・30 ◆『川内町史』一部刊行
- 平成12年
 - 3・31 ◆『煙小学校』、『湯野川小学校』閉校
 - 8・ ◆夏の甲子園大会で川内町出身の小濱巧聖選手・野里明人選手所属、青森県代表光星学院高へスト4進出
 - 10・1 ◆『川内町浄化センター』完成、公共下水道一部供用開始
 - ◆国勢調査実施、人口5千747人

- 平成13年
 - 7・19 ◆『かわうちマリッピーチ』一部完成
- 平成14年
 - 10・1 ◆下北初『脳ドック検診』川内病院で開始
- 平成15年
 - 3・26 ◆『川内町商工会館』完成
 - 3・31 ◆『戸沢小学校』閉校
 - 4・1 ◆『まちの駅かわうち』完成
 - 7・27 ◆『第26回青空フェスティバル』最後の町民大運動
- 平成16年
 - 5・7 ◆交通死亡事故ゼロ4000日達成
 - 8・1 ◆川内町役場『新庁舎』完成
- 平成17年
 - 3・14 ◆むつ市・大畑町・脇野沢村と合併
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口5千117人



かわうちマリッピーチ



合併し、むつ市川内庁舎に

- 12・9 ◆『大畑町社会福祉協議会』結成
- 昭和51年
 - 4・8 ◆『大畑統合中学校』開校、スクールバスを正津川地区、佐助川地区に運行
 - 10・1 ◆『学校給食センター』完成、町内全小中学校が一斉に給食開始
 - 11 ◆『小目名生活改善センター』完成
- 昭和52年
 - 11・30 ◆『町営住宅』2棟外山地区に完成
- 昭和53年
 - 11・30 ◆木野部、関根橋に『生活改善センター』完成
- 昭和54年
 - 2・11 ◆北海道『標津町』と友好都市盟約締結
- 昭和55年
 - 4・1 ◆『県立下北少年自然の家』開所
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口1万2千328人
 - 12 ◆『滝沢地区にスキー場開設
- 昭和56年
 - 4・7 ◆『大畑高校』独立昇格入学式挙行

- 昭和57年
 - 2 ◆『第11代町長に畑中一氏就任
- 昭和58年
 - 11・20 ◆『大畑郵便局』完成、落成式挙行
- 昭和59年
 - 5・1 ◆町制施行50周年記念式典挙行
 - 8・23 ◆『大畑小学校』校舎完成入学式挙行
- 昭和60年
 - 2・28 ◆大畑小学校『体育館』完成
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口1万1千708人
 - 12・20 ◆『浄水場移転事業』完了、滝沢から小目名赤坂地区へ



元気な子どもたちが集う中島児童館

- 昭和61年
 - 8・10 ◆『特産物活性化センター』完成、商工会事務局が同センターに移転
- 昭和62年
 - 3・27 ◆『清掃センター』ごみ焼却場』完成
 - 7・31 ◆『国道279号大畑バイパス』開通
- 平成2年
 - 3・11 ◆『正津川小学校』総ヒバ造り新校舎完成
 - 9・26 ◆都市計画道路『3・3・1号上野線』完成
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口1万084人
- 平成5年
 - 3・24 ◆『一般廃棄物最終処分場』完成
 - 10 ◆『第12代町長に川端一義氏就任
- 平成6年
 - 3・20 ◆『二枚橋小学校』新校舎完成
 - 3・24 ◆『大畑町斎場』完成
 - 5・1 ◆『町民プール』完成
- 平成7年
 - 3・31 ◆『中島児童館』完成
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口9千874人



開通した国道279号大畑バイパス



合併し、おつ市大畑庁舎に

- 昭和36年
 - 12・27 ◆『大畑町上水道』認可
- 昭和37年
 - 8・27 ◆『消防庁舎』新築落成
 - 9・1 ◆上水道工事着工
- 昭和38年
 - 9・1 ◆『薬研間定期バス運行開始
 - 11・1 ◆町章制定
 - 12 ◆『農業気象観測所』設置
- 昭和39年
 - 5・30 ◆『上水道』竣工
 - 11・22 ◆『魚獲物共同荷捌所』落成式挙行
 - 12・4 ◆『大畑町塵芥焼却場』完成
- 昭和40年
 - 3・31 ◆『青森県水産試験場大畑



昭和30年代の繁華街、新町通り

- 昭和41年
 - 2 ◆『第9代町長に村田幸次郎氏就任
 - 3・30 ◆都市計画事業、新町植医院、本町松本商店間町道整備
 - 4・1 ◆『東北大学考古学教室』二枚橋遺跡』発掘
 - 5・10 ◆『中島児童館』開館
- 昭和42年
 - 5・20 ◆『広報』『おおはた』創刊号発行
 - 6・7 ◆『大畑農業協同組合』設立
 - 12・1 ◆『町立大畑病院』新築完成
- 昭和43年
 - 3・31 ◆中島児童館前庭に『児童公園』完成
 - 5・16 ◆十勝沖地震発生（M7.9）、国鉄大畑線の不通等被害甚大
 - 7・22 ◆『下北半島国定公園』に指定
 - 10・30 ◆『正津川児童館』完成
- 昭和44年
 - 8・24 ◆台風九号により上大畑橋流失
 - 9・15 ◆台風九号により山車の合同運行を中止
 - 12・30 ◆『大畑中央公民館』、『町民体育館』完成
- 昭和45年
 - 2 ◆『第10代町長に佐藤正太郎氏就任
 - 4・1 ◆『県道むつ大間線』、『国道279号線』に昇格
 - 9・30 ◆『大畑町民憲章』制定
 - 10・1 ◆国勢調査実施、人口1万2千867人
- 昭和46年
 - 3・23 ◆『薬研温泉郷』、『国民保養温泉地』に指定
 - 4・1 ◆『一部事務組合下北医療センター』発足
 - 6・5 ◆『上大畑橋』完成式挙行

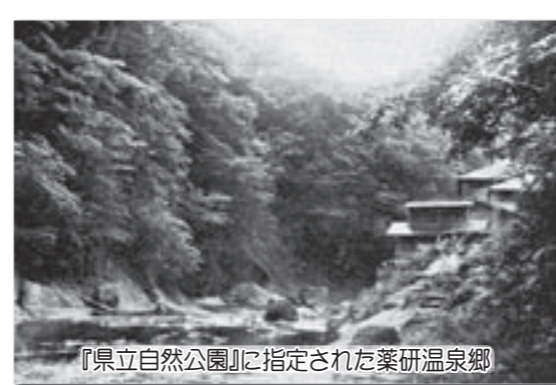


昭和30年代の湊内イカ釣り船

- 昭和47年
 - 11 ◆『宮浦墓地』関根橋間『根橋農免道路』完成
 - 12・20 ◆『正津川地区公民館』完成
- 昭和48年
 - 1・10 ◆『有線放送施設』完成
 - 3・7 ◆大畑消防署に救急車配置
 - 6・29 ◆『薬研地区』『国設野営場』開設
- 昭和49年
 - 3・27 ◆小目名『ひばの子森林警備隊』消防庁長官賞受賞
 - 5・12 ◆下北初の『歩行者天国』実施
 - 11・20 ◆『二枚橋地区公民館』完成
 - 11・22 ◆大畑町都市計画街路決定
- 昭和50年
 - 4・4 ◆『中央保育所』完成
 - 5・10 ◆『孫次郎間分館』完成
 - 11 ◆『赤川へき地保健福祉館』完成
- 昭和51年
 - 9・1 ◆第4次『大畑漁港』修築事業、『大畑町営魚市場』竣工祝賀式挙行
 - 10・10 ◆5次漁港修築事業起工式挙行



町民体育館と大畑中央公民館が完成



『県立自然公園』に指定された薬研温泉郷

旧脇野沢村

季節分校」開設

明治25年

- 4・1 ◆町村制施行、『脇野沢村』として脇野沢村と小沢村が合併
- 6・14 ◆村役場を現在の悦心院前に設置、初代村長に遠藤輔氏就任
- 明治23年
 - 12 ◆戸数270戸、人口1千762人
 - ◆鱈の漁獲量17万9千貫
 - ◆九艘泊で、鱈の建網の部落経営開始

大湊間の定期航路を蒸気船で開設

明治32年

- 4・9 ◆『脇野沢尋常小学校高等科』設置決定
- 7 ◆私立滝山小学校、『脇野沢尋常高等小学校滝山分教室』に
- 12 ◆鱈漁、このころから10年程不漁が続く、北海道留萌・松前方面への出稼ぎが多くなる
- 明治26年
 - 2・21 ◆脇野沢役場に『気象観測所』設置
 - 5 ◆第2代村長に山沢俊造氏就任
 - 11・23 ◆『脇野沢公立病院』開院式
- 明治28年
 - ◆寺島賢太郎氏が『脇野沢病院』を開業
- 明治29年
 - 4 ◆『脇野沢尋常高等小学校九艘泊分教室』設置
 - ◆脇野沢小学校を渡向に移転、2階建新校舎を建設
- 明治30年
 - 8 ◆第3代村長に永岡繁治氏就任
 - ◆『陸奥汽船合資会社』、青森〜脇野沢〜川内〜

明治33年

明治34年

- 10・7 ◆脇野沢に74.5mmの豪雨、稲の流失などで被害
- ◆本村に赤痢が蔓延、42人の患者が発生
- ◆脇野沢郵便局で小包郵便を取り扱う
- 明治35年
 - 3 ◆小沢尋常高等小学校、寄付金700円をもって稲平に校地を移転、9月に校舎完成
- 明治36年
 - 4・28 ◆『脇野沢村漁業組合』設立
- 明治37年
 - ◆日露戦争（〜明治38年）脇野沢村から10人が従軍、戦死者5人をだす
- 明治38年
 - ◆陸奥湾航路に『陸奥丸』（100トン）、大湊〜青森間を一日一往復で就航

明治41年

- 2 ◆第4代村長に村木謙造氏就任
- 4・1 ◆九艘泊分教室、『脇野沢尋常高等小学校九艘泊分教室』と改称
- 明治42年
 - 11 ◆第5代村長に相馬肅一郎氏就任
- 明治43年
 - 12 ◆『滝山小学校』滝山に新築



村制施行当時の役場



イワシ干し風景

大正4年

- 4 ◆『九艘泊分教室』校舎を新築
- 6・11 ◆第7代村長に山本聡氏就任
- ◆九艘泊の榎引岩男氏が猪口網を導入、イワシ干し網漁開始
- 大正6年
 - 3・7 ◆第8代村長に寺山平吉氏就任
- 大正8年
 - 2 ◆『脇野沢青年団・脇野沢村処女会』設置、脇野沢小学校内に事務所置く
 - 4 ◆脇野沢尋常高等小学校に『実業補習学校』併設

大正6年

大正8年

- 明治44年
 - 1 ◆この年より、大正3年頃まで鱈漁が不振、漁師の生活困窮により、税金滞納で差押多数
- 3 ◆第6代村長に吉川吉三氏就任
- 4・6 ◆本村で出火、39戸が焼失
- 大正元年
 - 12月末 ◆戸数270戸、人口1千762人
- 大正3年
 - 12月末 ◆戸数334戸、人口2千443人

昭和17年

昭和18年

- ◆川内〜脇野沢間の道路が県道に昇格
- 9・15 ◆田名部〜脇野沢間に国鉄バス開通
- 昭和19年
 - 12・15 ◆鱈豊漁、1日15万尾の水揚げを記録、この年百万尾の水揚げを記録、鱈景気にわく全村民の寄付により、大日本帝国に海軍機を寄付

昭和25年

- 7・15 ◆『県立大湊高等学校定時制課脇野沢分校』開校
- 4 ◆滝山分校、『村立滝山小学校』として独立
- 10・1 ◆国勢調査実施、人口4千583人
- 昭和26年
 - 4・1 ◆九艘泊分校、『村立九艘泊小学校』として独立
 - ◆脇野沢中学校小沢分校、『村立小沢中学校』として独立

- 昭和20年
 - 2・23 ◆第12代村長に大間吉郎氏就任
- 12月末 ◆戸数555戸、人口3千631人
- 昭和22年
 - 4・7 ◆立候補選挙制の村民投票、第13代村長に川岸謙吉氏就任
 - 10・27 ◆蛸田季節分校、通年制の『脇野沢小学校蛸田分校』に
 - ◆滝山・源藤城・寄浪・蛸田・九艘泊に送電、電灯がつく
- 昭和23年
 - 5・26 ◆第14代村長に川岸伝吉氏就任

昭和27年

- 11 ◆『脇野沢中学校』、瀬野川目に校舎新築
- 昭和28年
 - 4・1 ◆脇野沢中学校九艘泊分校、『村立九艘泊中学校』が、『村立九艘泊中学校』の専用校舎に
- 昭和29年
 - 4 ◆脇野沢中学校『体育館』落成
- 昭和30年
 - 7・24 ◆下北駅伝で優勝

12月末 ◆戸数345戸、人口2千508人

大正10年

大正11年

- 10 ◆『脇野沢公立消防団』を本村に組織
- 大正11年
 - 1 ◆『脇野沢消防組』を組織
 - ◆本村・小沢・瀬野・新井田に電灯設置、川内安部城鉱山水力発電より送電

昭和3年

昭和5年

- 9・30 ◆源藤城で出火、損害7千円
- 7 ◆『川内営林署脇野沢』に軌道を敷設
- 昭和6年
 - 5 ◆小沢と九艘泊で、季節出稼ぎ対策として、消防団に『女子応援隊』発足
 - 8 ◆下北初の自動車ポンプ設置
- 昭和8年
 - 12 ◆鱈大々漁、水揚量250万尾以上、翌年2月にかけて、浦田部落からの脇野沢への出稼ぎ盛んに

昭和9年

昭和10年

- 4・18 ◆本村下町から出火、清水町・下町・本町・谷地町・上町・浜町の153戸を全焼する
- 昭和10年
 - 10 ◆電話設置
- 昭和13年
 - 12・15 ◆『脇野沢尋常高等小学校』校舎、木造2階建てで桂沢に新築
- 昭和14年
 - 9・2 ◆第11代村長に高松勘次郎氏就任
 - ◆小沢にガソリンポンプ1台購入

大正14年

大正15年

- 12月 ◆戸数412戸、人口2千564人
- 大正14年
 - ◆本村の加藤喜代治氏が住宅新築中に、地中より『アイヌの腰刀』発見
- 大正15年
 - 9・3 ◆田名部・大奥（大間町）・脇野沢に気象観測所設置

昭和2年

昭和3年

昭和5年

昭和11年



発足した消防団『女子応援隊』



鱈漁大漁の水揚げ風景

- 昭和22年
 - 4・7 ◆立候補選挙制の村民投票、第13代村長に川岸謙吉氏就任
- 昭和23年
 - 5・26 ◆第14代村長に川岸伝吉氏就任



蟹田～脇野沢間カーフェリー就航

- 9・27 ◆ 消防分署に救急車配置
◆ 村のシンボルといえる
鯛島の尾部が崩落
- 昭和55年**
- 4・1 ◆ 行政連絡員設置
- 4・10 ◆ 蟹田く脇野沢間、カー
フェリー就航
- 6・4 ◆ 田ノ頭地区で山火発生
- 9・3 ◆ 第5分団、消防操法県大
会小型ポンプの部で優勝
- 9・20 ◆ 『総合中学校校舎』完成
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口3千
739人
- 昭和56年**
- 4・1 ◆ 『脇野沢中学校』として、
脇野沢・小沢・滝山・九
艘泊の4中学校が統合
し完全給食スタート

- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口3千
486人
- 昭和60年**
- 3 ◆ 七引地区にバンガロー
5棟完成
◆ 貝崎園地にバンガロー
4棟完成
- 昭和59年**
- 4・1 ◆ 脇野沢村史『民族編』発行
- 昭和58年**
- 10 ◆ 農協、『イノシシ飼育事
業』開始
- 昭和61年**
- 6・9 ◆ リフレッシュセンター
『鱈の里』完成
- 7・12 ◆ 『夢の海中号』就航
- 12 ◆ 『木材工芸センター』完成
- 昭和62年**
- 6・23 ◆ 高速旅客船『ほくと』就航
- 昭和63年**
- 4 ◆ 『交流センター』落成

- 2・19 ◆ 『いのししの館』落成
- 平成10年**
- 7 ◆ 『焼き干しラーメン』販
売開始
- 1・18 ◆ 交通死亡事故ゼロ2千
500日を達成
- 平成9年**
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口3千
019人
- 7 ◆ ◆ 九艘泊小学校創立百周年
- 3・31 ◆ 脇野沢幼稚園廃園
- 平成7年**
- 5 ◆ ◆ 『水産加工センター』落成
◆ 『マリンハウス』落成
◆ 『猿の住む海辺公園』落成
- 平成6年**
- 4 ◆ ◆ 『三収集業務を民間委託
滝山小学校創立百周年
- 平成4年**
- 4 ◆ ◆ 『海づり公園』落成
- 7・9 ◆ 第17代村長に山崎隆一
氏就任
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口3千
202人
- 平成2年**
- 6・13 ◆ 村制施行100周年記念
式典、祝賀会事業実施
◆ 『夢の平成号』就航
- 平成元年**



高速船『ほくと』就航

- 2・1 ◆ 『脇野沢村高齢者福祉施
設』業務委託開始
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口2千
775人
- 平成12年**
- 4・1 ◆ 脇野沢村特別養護老人
ホーム業務委託開始
- 平成14年**
- 2・23 ◆ 九艘泊小学校閉校式
- 3・2 ◆ 滝山小学校閉校式
- 3・23 ◆ 小沢小学校閉校式
- 平成15年**



合併し、むつ市脇野沢庁舎に

- 3・24 ◆ 『むつ下北地域任意合併
協議会』に参加
- 4・1 ◆ 『脇野沢統合小学校』開校
- 平成16年**
- 5・20 ◆ 『地域交流センター』建
設開始
- 平成17年**
- 3・6 ◆ 市町村合併により、閉
村式挙行
- 3・14 ◆ むつ市、川内町、大畑町
と合併
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口2千
280人

- 7 ◆ ◆ 村立小沢中学校『体育館
兼講堂』新築落成
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口4千
788人
- 昭和31年**
- 4 ◆ ◆ 『国民健康保険事業』休
止決定
- 10・31 ◆ 防風高潮で床下浸水家
屋25棟、道路決壊3か所
- 昭和32年**
- 10・7 ◆ 豪雨で一時75・5mm、こ
の頃から北海道への出
稼ぎ続出
- 昭和34年**
- 5・1 ◆ 第14代村長に山崎陸郎
氏就任
- 9・18 ◆ 台風14号で海岸が2mの
高潮、住宅全半壊・流出
216戸
- 昭和35年**
- 1・25 ◆ 『脇野沢漁業協同組合婦
人養殖研究会』結成
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口4千
742人
- 昭和36年**
- 8・28 ◆ 砂利トラックが児童など
25人を乗せて転覆、児童
10人助手1人死亡、2人
重傷

- 6・2 ◆ 『吉戸バケツ運動』で男手
不足の消防弱体化防止
- 7 ◆ ◆ 『火葬場』完成
◆ 人口が最高の5千158
人に
- 昭和37年**
- 9 ◆ ◆ 京都大学人類学グルー
プ、『野猿調査』実施
- 昭和38年**
- 3 ◆ ◆ 『脇野沢地区簡易水道施
設』完成
- 12・28 ◆ 九艘泊婦人会、野猿の
餌付成功
- 昭和40年**
- 3 ◆ ◆ 『小沢地区簡易水道』敷設
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口4千
689人
- 昭和41年**
- 3 ◆ ◆ 『九艘泊地区簡易水道敷設
11・11 ◆ 九艘泊周辺の『野ザル』、
国の文化財保護委員会
が天然記念物指定申請
- 12 ◆ ◆ 『脇野沢村隔離病舎』新
築落成
- 昭和43年**
- 7 ◆ ◆ 『塵介焼却場』完成、村
内全域収集開始
- 7・22 ◆ 『下北半島国定公園』に
指定

- 9 ◆ ◆ 『脇野沢小学校』新築落成
- 昭和44年**
- 5 ◆ ◆ 東北大学考古学調査団
脇野沢地区で弥生時代前
期のたて穴住居跡発見
- 8・23 ◆ 台風9号により全村大
被害
- 昭和45年**
- 10・25 ◆ 小沢道路側溝工事中、
木箱に入った大量の古
銭発見
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口4千
205人
- 11・11 ◆ 『北限の二ホンザル』、天
然記念物に指定
◆ 『新井田・寄浪・蛸田地
区簡易水道』敷設



台風9号により全村大被害

- 12 ◆ ◆ 『有線放送施設』完成
◆ 村章および村旗制定
- 昭和46年**
- 7 ◆ ◆ 『下北地域広域行政事務
組合脇野沢分署』発足
- 昭和47年**
- 11 ◆ ◆ 『役場』、『村民体育館』
完成
- 昭和48年**
- 3 ◆ ◆ 『小沢地区生活福祉セン
ター』完成
- 昭和49年**
- 4 ◆ ◆ 脇野沢小学校創立百周年
◆ 『脇野沢消防分署庁舎』
落成



天然記念物に指定された北限の二ホンザル

- 12 ◆ ◆ 『村営住宅』1号・2号棟
竣工、以後、昭和50年に
3・4号棟、51年に5・6
号棟完成
- 昭和50年**
- 6・25 ◆ 『下北海中公園』（鯛島・
仏ヶ浦、自然環境保全
審議会承認）
- 8 ◆ ◆ 脇野沢農協、旧むつ市内
に通学する高校生対象
に農協運営無料通学バ
ス運行
- 10・1 ◆ 国勢調査実施、人口3千
873人
- 昭和51年**
- 4 ◆ ◆ 脇野沢小学校に『脇野沢
幼稚園』併設
◆ 小沢小学校創立百周年
- 昭和52年**
- 3 ◆ ◆ 『脇野沢診療所』新築落成
- 8・6 ◆ 滝山小中学校『プール』
完成
- ◆ 『三焼却場』完成
- 昭和53年**
- 10 ◆ ◆ 幻の県道大間く川内く
脇野沢線完成、『海峡ラ
イン』と命名
- 昭和54年**
- 5・1 ◆ 第16代村長に浜田昭三
氏就任